



Smiles and Dreams for All

2017 年 夏号
2017.9.10 発行

●隆生福祉会
〒546-0013
大阪市東住吉区湯里 1-3-22
tel 06-6701-5820
fax 06-6705-5108
http://www.smile-yume.com

HEAD LINE

理事長コラム
見学・取材のご紹介
介護ロボット導入事例
春期フィンランド交流
ゆめあまみフェスティバル
東住吉区長来訪

他

「もう3Kとはいわせない5Kといわれる介護施設の秘密」 この本が出会いを広げてくれました



社会福祉法人 隆生福祉会
理事長 藤本加代子

3月17日にエスコートと共に出版致しました「もう3Kとはいわせない 5Kといわれる介護施設の秘密」(PHP 研究所)が、大人気で在庫不足になり、早速、増刷になりました。日々多数の書籍が出版される中で、多くの方にお読み頂くことができ、嬉しく思っております。それだけ多くの方が、介護の仕事に高い関心を持っておられることと実感致しました。

出版後、テレビ番組「賢者の選択 Leaders」に出演、雑誌の取材や講演依頼など、想像以上の反響が続きました。また、日本各地からご見学のお申込みを頂き、温かい励ましのお便りも続々と届いております。

このように、今回の刊行を通して、新たに多くの素晴らしい方々との出会いがあり、本の力はすごい！と驚いております。忙しい仕事の合間を縫って執筆するのは本当にたいへんな作業でしたが、その甲斐がありました。もちろん、執筆に協力してくれたエスコート達も日々の仕事とはまた少し違った充実感を味わってくれていることと思います。

仕事を始めた時、私は人前で話すことと文章をつくるのがたいへん苦手でした。ところが今では、話すことと書くことが私の仕事の大部分を占めています。人生って不思議で面白いものですね。

「賢者の選択」
YouTubeで
ご覧になれます



大阪労働局からのご見学

4月26日、大阪労働局の局長様一行が、ゆめパラティースとゆめあまみの見学にいらっしゃいました。両施設をご覧になった学谷秀信局長は、今まで視察された高齢者施設の中でも想像を超えた別天地であると驚かれていました。ゆめパラティースを「北欧の妖精と一緒にいる」、ゆめあまみを「日本の大地の息吹を感じる」と表現して下さいました。



宮城県庁からのご見学

6月6日、宮城県保健福祉部 長寿社会政策課の成田美子課長様一行が、ゆめパラティースとゆめあまみにお見えになりました。介護ロボットやリラックスチェア、シルキーオーロラバス等をご覧になり、明るく広い施設に「環境がとても良いですね」とご評価頂きました。



大阪働き方改革推進会議 介護労働に関する作業部会のご見学

6月8日、大阪働き方改革推進会議「介護労働に関する作業部会」の方々15名に、ゆめパラティースを見学頂きました。デイサービスではトレーニングマシンやサウナ等を、特養では、各フロアの様子や介護ロボット等を見学されました。「ご利用者様は幸せそうな顔をされていますね」とお褒めの言葉を頂きました。この模様は大阪府労働局ホームページで報告されているほか、プレスリリースも予定されています。



「HELPMAN JAPAN」掲載

株式会社リクルートキャリア様がプロデュースする、介護業界の就業人口を増やす為の様々なサービスを提供する『HELPMAN JAPAN』。そのウェブサイトの中、業界の最新トレンドや注目される人物へのインタビューなどのコーナー「ヘルプマン」で、隆生福祉会を取り上げて頂きました。



ヘルプマンの記事

「月刊不織布情報」掲載

医療・介護分野でも使用される不織布について、国内外のニュースなどを掲載した情報誌を出版されている株式会社不織布情報様に取材して頂きました。専門雑誌の「月刊不織布情報」は毎月10日発行で、隆生福祉会の記事は6月10日発行503号の特集として掲載されました。

VR 認知症体験会

7月1日、ゆめパラティースにて、株式会社シルバーウッドの代表取締役 下河原忠道様をお迎えし、学生を対象にした「VR 認知症体験会」を開催致しました。この体験会は、VR（バーチャルリアリティ）の技術を活用し、認知症の中核症状を疑似体験するものです。

「認知症の方の立場に近づけた」「認知症に対する概念や偏見といったものがくつがえされた」「認知症になっても大丈夫！という考え方に变えようと思った」等、参加者から多くの感動のコメントを頂きました。下河原様は、一人でも多くの方に認知症への理解を正しく深めてもらうため、日本各地でこの体験会を開催されています。



下河原様の説明を受けながらの体験



最先端の技術にみんなびっくりしました

テレノイドセミナー

7月13日にゆめパラティースで、テレノイドセミナーを開催致しました。

テレノイドとは、マツコロイドの開発者としても有名な大阪大学の石黒浩教授が開発した遠隔操作型アンドロイド（人が操作し動かすことのできるロボット）です。テレノイドは、認知症の高齢者の方との新しいコミュニケーションツールとして注目されており、今年2月には宮城県介護施設で実用化されました。今回のセミナー講師として株式会社テレノイド計画の代表取締役、宮崎詩子様にお越し頂きました。

第1部の「入門編」では、テレノイドの基礎を学びました。宮崎先生ご自身の15年間の介護経験談も交えながらテレノイドの可能性についてお話し頂いた後、一人ずつテレノイドとハグさせて頂きました。

第2部の「導入編」では、実際にご利用者様にテレノイドと触れ合ってもらいました。お子様が幼かった頃を思い浮かべられるのか、いつも無口な方も積極的に、表情豊かにお話ししていらっしゃいました。その様子に皆、テレノイドの効果を実感致しました。

テレノイド



宮崎先生



見た目は無表情ですが、ハグするとかわいい



会話を楽しんで頂きました

介護ロボットを続々導入 ~様々な介護ロボットを積極的に導入、実証試験にも協力しています~

今年に入り、従来の介護ロボットに加え、離床アシストベッド「リショーン Plus」、移乗サポートロボット「Hug」、健康見守り型クラウドサービス機器「ライフリズムナビ+Dr.」等を、各施設に続々と導入致しました。

中でも、株式会社プロアシストの「リラクスケア」は、ロッキングチェアセラピー機器として、北欧で多数の納入実績を誇っています。日本ではいち早く、隆生福祉会が第一号機を導入致しました。認知症の方に1週間に2回（1回あたり20分程）お座り頂くだけで、気持ちが落ち着かれ、夜間も穏やかにお過ごし頂けるという効果があります。また、大和ハウス工業株式会社の「シルエット見守りセンサ」については、厚生労働省の「介護ロボットの導入支援及び導入効果実証研究事業」で、全国で6施設の一つにゆめあまみが採択され、現在5台の機器を設置し実証試験中です。

他にもメーカーの依頼で効果実証試験に協力する等、最先端のロボット開発の一助を担っています。これら介護ロボットは、ご利用者様、ご家族様に大変喜ばれています。また職員にとっても、負担軽減効果があるだけでなく、最先端の技術に触れることにより、仕事へのモチベーション向上にもつながります。これからも、更に積極的に介護ロボット導入を進め、五つの笑顔を生み出す法人を目指します。



国内一号機のリラクスケア

ゆめパラティースの太陽光発電

日本で初めて太陽光発電システムが住宅に設置されたのは1992年。それはアモルファス太陽電池を世界で初めて工業化させた桑野幸徳博士（隆生福祉会特別顧問・太陽光発電技術研究組合名誉顧問・元三洋電機株式会社社長）のご自宅「桑野太陽光発電所」と名付けられました。

この度、桑野博士から発電所の運転25周年を記念して作られたポロシャツ（胸にご自宅の発電所のイラスト入り）を贈呈頂きました。

ゆめパラティースの屋上の太陽光発電システムは、桑野博士直々のご指導の下に設置されています。



素敵なポロシャツ



施設玄関にあるモニターでは発電量が一目瞭然



屋上の太陽光発電パネル

2017年春期 フィンランド交流

今春のハナコセミナーは、5月12日にフィンランド中部に位置するオウルで開催され、藤本理事長はじめ6名が参加致しました。

今回、初めて、フィンランド国内の職業学校の学生（25歳まで参加可能）が学校対抗でスキルを競い合う大会「Taitaja Mastare Helsinki 2017」を視察致しました。これは、5年に一度開催されている大きなイベントで、3日間の開催期間の冒頭に課題が発表され、様々な項目で教員達から成る審査委員によって審査されます。まさに隆生福祉会が毎年実施している「ゆめリンピック」とよく似た内容で審査されていて興味深いものでした。



オウルでのハナコセミナー参加者



「Taitaja Mastare Helsinki 2017」
介護職のブースにて。
「ゆめリンピック」みたい！



恒例の英語スピーチをする藤本理事長

フィンランドから 実習生の皆さん

今春のフィンランドからの実習受入れは、3月27日より学生1名（調理科）、5月22日からは教員3名と学生3名（調理科とスポーツ科）、計7名でした。

1週間のオリエンテーションを終えた後、各自、実習をスタート。今回初めての受入れとなるスポーツトレーナーの実習生は、各高齢者施設の理学療法士や柔道整復師の職員の指導の下、フィンランドの日常の動きを取り入れた体操をご利用者様に実施する等、大好評でした。

保育園では、フィンランドの特徴的な幼児教育の考え方に沿って、遊びを通した運動能力アップを目指し、子供達と触れ合いました。教員は約1週間、学生は約2か月滞在されました。文化視察・体験、各施設での実習を通して、日本人の仕事への姿勢、丁寧さ、礼儀正しさ、優しさ等、多くを学ばれ帰国されました。



北欧のレッドコードは
お手のもの！
ゆめパラティースにて



初体験の着物をきれいに
着こなされた教員3名



ゆめあまみで初書道！

山本能楽堂様の フィンランド公演を橋渡し

隆生福祉会のフィンランドとの交流が日本文化の普及に貢献できました。ゆめ中央保育園のご近所におられ、園児の能体験やフィンランドからの視察の受入れなどに取り組んで頂いた、公益財団法人山本能楽堂のフィンランドでの能公演成功への橋渡しをすることができました。

6月18日に、クオピオのダンスフェスティバルでの公演を大盛況で終えられ、フィンランドの一番大きな新聞「ヘルシンキ サノマット新聞」で大きく取り上げられる等、高い評価を受けられました。この様な海外公演の実績が諸外国における日本文化の普及への功績と認められ外務省より『平成29年度外務大臣表彰』（団体）を受けられました。おめでとうございます！！



クオピオでの公演

～ゆめをつなぐ～ ゆめあまみフェスティバル

6月11日、第14回ゆめあまみフェスティバルを開催致しました。ご利用者様のゆめの実現を職員がつないでいきたい、という思いで、今回のテーマは「ゆめをつなぐ」。

ステージでは松原市立松原第5中学校の吹奏楽、河内音頭、職員による「ゆめを叶えるダンス」、唄等が披露され、屋台ではチヂミ、カレーライス、アイスクリーム等、たくさんのおいしいものが並びました。フィンランドからの実習生も屋台のお手伝いに参加致しました。地域野菜の販売、似顔絵、アロマ、ワニワニパニック等の催し物もあり、盛りだくさん。400名のお客様にお越し頂き、今年も満員御礼でした。ご家族様のご協力を頂き、無事に大盛況で終えることができ感謝致しております。今後も地域交流を深めて、楽しい企画を検討して参ります。

来年は15周年ですので、皆様どうぞご期待ください！



屋台で使える
「ゆめチケッ」が
当たりました



フィンランド人実習生
お祭りでも大活躍

東住吉区長がいらっしやいました

5月9日、上田正敏・東住吉区長が「はつらつ脳活性化元気アップ講座（にこにこ体操教室）」の見学にいらっしやいました。この講座は、東住吉区保健福祉センターが主催の地域の高齢者の方々を対象にした健康教室で、当法人は施設を提供し定期的にご利用頂いています。

上田区長は教室の様子をご覧になり、当法人の社会貢献事業の一環として、この活動をサポートさせて頂いていることへの感謝のお言葉を下さいました。



上田区長と藤本理事長

大阪市家族介護支援事業～都島区北部地域包括支援センター～

5月24日、大阪市立総合医療センターのさくらホールで、第7回大阪市家族介護支援事業「認知症にはならへん！なるかな？なったらどうしよう！？」を開催致しました。

今年は、大阪市立総合医療センター救命救急部長による「認知症の進行を防ぐ取り組み～大腿骨骨折～いかに早期対応することで認知症予防につながるか」の取り組みの報告と、理学療法士による「運動と認知症の気になる関係」のお話でした。適切な運動を継続することが認知症予防になるということ、体を動かしながらわかりやすく説明して頂きました。



参加者は400名を超えました

最後は恒例の「梅干し体操」です。会場全体揺れるような一体感、皆さんの笑顔！圧巻でした。

高齢者の権利擁護を考える みんな＊de＊交流会

4月18日、都島区北部地域包括支援センター主催により、都島区民センター1階ホールにて第7回「みんな＊de＊交流会」を開催しました。今年も「権利擁護のイ・ロ・ハ Part III」と題して、ふくろう法律事務所の弁護士、介護支援専門員でもあられる松宮良典先生にご講演頂きました。ケアマネジャー等の介護施設の方や地域福祉コーディネーター等、様々な専門職の方々にも参加して頂きました。講演後は各テーブルで意見交換会が行われ、普段から高齢者の方への支援をされている皆さんから現場の声を聴くことができました。権利擁護のイ・ロ・ハがわかり、高齢者支援について理解を深めることができました。



『ゆめ式介護』技術研修



より安全な移乗介助を目指しています

隆生福祉会の各高齢者施設では、全ての施設、全ての職員が高いレベルでの介護を行えるよう、統一した様式で

の技術研修を始めました。

初の研修は、ゆめあまみで7月21日に行われました。テーマは移乗時のスライディングボードの使用方法です。

こうした研修を全施設で横断的に実施し、隆生福祉会ブランドとしての「ゆめ式介護」を確立できるよう、取り組んで参ります。

近畿福祉施設研究協議会で発表

7月12日に、平成29年度近畿福祉施設研究協議会の和歌山大会が行われました。近畿の社会福祉法人が集まり、自立を支援する介護を目指すために介護の専門性、やりがいや魅力を発信していこうという大会です。

隆生福祉会からは、ゆめあまみの入職3年目、田中佑季が発表致しました。テーマは『先駆的なハイテクノロジー導入取り組みの実現』、副題は「抱えない介護を目指して」。介護分野におけるICT及びロボット導入の実践背景と目的を明確にし、介護をする側・受ける側にメリットがあるという実践結果を発表致しました。素晴らしい内容と発表力に会場から割れんばかりの拍手を頂きました。



発表を行う田中エスコート

＊ゆめ中央保育園 夏祭り＊



手づくりのおみこし



本物そっくりのタコ焼き

ヨーヨー釣り

8月4日、ゆめ中央保育園の夏祭りです。太鼓の合図と共にワッショイ！ワッショイ！子ども達手づくりのお

みこしがやってきました。女性職員は浴衣、園児たちはハッピー、David先生も甚平を着て祭りを盛り上げます。「ぱんだのタプタプ音頭」に合わせて輪になって踊った後は、ヨーヨー釣りやもぐらたたきに挑戦。発泡スチロールで作ったタコ焼きは本物の様に美味しそう！皆、笑顔の夏祭りでした。

ゆめパラティース ピアノコンサート



7月29日、ピアノを学ばれているご利用者様のお孫様が、ゆめパラティースでコンサートを開いてくださいました。素晴らしいひと時を過ごすことができました。